



2022年1月28日

各位

会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 金子 英樹
(コード番号：4373 東証第一部)
問合せ先 取締役 CFO 江野澤 慶亮
(Tel. 03-3539-7370)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年1月28日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年8月19日に公表した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益	(参考)調整後営業利益	(参考)調整後親会社の所有者に帰属する当期利益	(参考)調整後基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	30,300	5,612	3,750	77円65銭	5,787	3,873	80円15銭
今回修正予想 (B)	30,300	6,230	4,171	84円88銭	6,388	4,280	87円09銭
増減額 (B-A)	—	618	421	7円23銭	600	407	6円94銭
増減率 (%)	—	11.0%	11.2%	9.3%	10.4%	10.5%	8.7%
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	27,532	4,510	2,984	61円80銭	4,540	3,005	62円23銭

- * 当社は、2021年7月10日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、基本的1株当たり当期利益及び調整後基本的1株当たり当期利益につきましては、2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。
- * 前期実績（2021年3月期）の基本的1株当たり当期利益は、前期の期中平均株式数により算出しております。
- * 本日公表した今回修正予想の基本的1株当たり当期利益につきましては、2021年12月末時点の期中平均株式数により算出しております。詳細な株式数につきましては『2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）』をご参照ください。

* 営業利益、調整後営業利益、調整後親会社の所有者に帰属する当期利益及び調整後基本的1株当たり当期利益は、以下の算式により算出しております。

営業利益＝売上総利益－識別可能資産償却費－販売費及び一般管理費－研究開発費＋その他の収益－その他の費用

調整後営業利益＝営業利益＋上場関連費用

調整後親会社の所有者に帰属する当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益＋上場関連費用＋調整項目の税金調整額

調整後基本的1株当たり当期利益＝調整後親会社株主に帰属する当期利益÷期中平均株式数

* 上場関連費用とは、上場に係る弁護士費用、上場準備に係るアドバイザー費用、上場審査に係る費用、英文目論見書監査費用等及び監査法人に対する報酬等の上場に関連する一時的な費用であります。

2. 修正の理由

近年、デジタル技術の進展・普及に伴い、あらゆる産業において、テクノロジーを駆使してビジネスモデルそのものを改革していく、DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応が急務となっております。

当社グループにおいても、足元における構造的な底堅いDX需要に連動する形で、セレクトティブに案件を受注できる事業環境が継続しており、品質管理の強化による不採算案件の低減も相まって、売上総利益率が想定を上回って推移しております。他方、研究開発費につきましても、活況を呈する顧客プロジェクト対応を優先した結果、研究開発費の予算未消化による費用の減少を見込んでおります。

これらを踏まえ、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、基本的1株当たり当期利益について業績予想を上方修正いたします。また、2022年3月期以降には発生が見込まれない上場関連費用を控除した調整後営業利益、調整後親会社の所有者に帰属する当期利益、調整後基本的1株当たり当期利益につきましても、併せて上方修正いたします。

なお、売上収益、期末配当は、前回予想から据え置いております。

上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上